

自己を見つめ、より良い方向へ進もうとする児童を育てる 道徳指導の工夫

～自分の考えをノートに書いてからの話し合い活動を通して～

道徳班 中島 智(小学校教諭)

児童の実態

良くないことでも、善悪の判断をせず、人のまねをしてしまう。
(〇〇さんがやっていたから……)

資料「うばわれた自由」
(文部科学省)

手立て

ノート

話し合い

授業前

「あなたの想像する自由とはどういうものですか？」という質問をし、各自の考えをノートに書かせておく。

導入

ノートに書かれた児童の考えをグループ分けしておき、伝える。

資料を読み、ジェラル王子と森の番人ガリユーの自由を確認する。

資料

まず、今の自分の考えを
ノートに書く。



ノートに書いたことをもとに
友だちと話し合う。

なるほど！そう
いう考えなんだ。
自分の考えが
変わりそうだな。

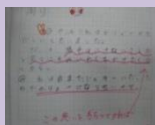
友だちと話し合い考えが増
減したり、変化したら、ノ
ートに加除・修正していく。

何度も自己を見つめ、何
がよいのか考えることで、
より良い方向へ向かってい
くことができる。

話し合い

より良い方向へ

最初の自分の考えと
最後に書いた自分の
考えが明らかに変
わったことが分かる
ノートになっています。



【最初】
私は前まで
ジェラル
だった。

【最後】
ガリユーみ
たいになり
たい。

話し合いのパターン

クラス全体での学習

グループ学習

ペア学習

・聞き合う
・話し合う
・比べ合う
・認め合う

①「私の考えはこ
うなんだ。」

③だって〇〇
だから……。

⑤うん。教えて！

②「へー。私とは違
うなあ。どうして、そう
思ったの？」

④なるほど！いい
考えだね。私も
聞いて。



目指す児童像

自己を見つめ、より良い方向へ進もうとする児童

成果と課題

- 自分の考えをノートに書き出すことで、きちんと自己を見つめることができる。
- 話し合い活動で、友だちの考えを知るたびに自分との考えと比較する。そこで、多様な考えがあることを知り、自分の考えを何度も再構築し自己を見つめ直す機会が増えた。
- 自分の考えを再構築すればする程、児童の考えはより良い方向へ進んでいくことができた。
- 自分の考えの変わり方がノートを見た時に分かるような工夫をする必要がある。自分の考えを消して書き直してしまう児童がいたので、最初にノート使用のルールをクラス全体で確認する必要がある。